

AE絶縁劣化診断装置

AE-210SE

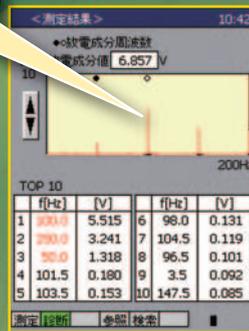
電力設備の絶縁劣化を活線状態で診断

活線状態の電力ケーブル端末部・接続部、開閉器などに専用センサを押し当て、測定ボタンを押すだけで部分放電に伴うAEを計測・解析し、絶縁劣化状態の指標となる結果表示を行います。

部分放電状態を視覚化・数値化

部分放電によるAEは電源位相に同期して強弱を示すため、商用周波数の2倍周期で顕著に現れます。これを明示化することで、診断を行います **特許技術**

商用周波数の2倍
東日本:100Hz
西日本:120Hz



現場測定対応のポータブル性能

- 小型・軽量で柱上やマンホール内の測定に対応
- バッテリー駆動で電源準備不要
- カラー液晶搭載で診断結果をその場で確認可能
- 測定データはメモ리카ードに記録し、データ管理ソフトで管理が可能

操作性を考慮したセンサユニット

- 絶縁手袋を着用していても掴みやすい形状を採用
- センサ保持しながら測定操作可能



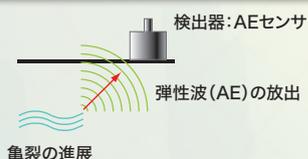
データ管理ソフト付属

- 点検スケジュール管理
- 測定データ(波形・傾向管理グラフ)管理
- 診断報告書の出力機能



AE (Acoustic Emission) とは

AEとは『物体の亀裂・破壊・磨耗・摺動等に伴って放出される弾性波』のことをいいます。本装置では、放電を起こし測定対象から放出されるAEを検出して診断を行います。



波形出力(オプション)

- AEアンプとしても利用可能
オシロスコープなどで連続波形観察が可能です
(出カケーブルはオプション)



JFE アドバンテック 株式会社